

施策情報のグループ共有化

①情報連携の取組み(EDI化の推進、UI/UXの取組み、IT推進の取組み)について

	北海道西濃	神奈川西濃	三河西濃	関東運輸	ココネット
現状 (状況及び、課題)	<p>【EDI化の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・90%未達店所 2店所 (札幌支店・札幌西支店)</li> <li>・【EDI課題】</li> <li>・お客様のシステムとの連携がうまくいかなかった</li> </ul>	<p>【EDI化の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テンカ株式会社様のKM-ZEROに関する改善(課題)</li> <li>①非EDI</li> <li>②SD端末入力作業</li> <li>③お客様控の発生</li> <li>④原票の改善 A5フラット</li> </ul>	<p>【EDI化の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Web請求の推進</li> <li>・KM2の拡販</li> <li>・少額荷主ほど導入に困難を示される</li> </ul>	<p>【IT推進の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・顧客に合わせた請求書作成</li> <li>・請求内容が多岐に渡り、様式に統一感が無い</li> <li>・エクセル作成が多くシステム化ができていない</li> </ul>	<p>【IT推進の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3社合併前に使用していた各種システムがバラバラであったため情報連携が困難</li> <li>・KPIの週次把握のために人力による集計・チェック業務が増加、ミスが減らない</li> </ul>
新たな取組み (課題解決策)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・KM2記事欄に現行原票記事欄の記載項目(納品場所・配達時間等)をスムーズに移行できた為、お客様の従来の出荷システムと遜色なく導入して頂けた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①お客様と通信設定を確立しEDI化</li> <li>②EDI化による端末入力を無くす</li> <li>③データ化によるペーパーレス化</li> <li>④連続フラット原票の導入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規荷主に対しては予め、Web請求・口座振替・KM2の導入をお願いする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・請求書PDF化</li> <li>・発行する請求書を紙ベースからすべてPDFに変更。</li> <li>PDFを作成する上で、作成する支店へ作成方法等を共有し進める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勤怠、コミュニケーション、ファイル共有、配送管理、契約の業務システムは統一を実施</li> <li>・生成AI、RPAを導入し人力による集計業務を自動化</li> </ul>
効果・実績について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・EDI化比率89.9%</li> <li>・上記取組みにより、月間約1,000枚(約1ポイント上昇)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①②SDの端末入力時間30分削減</li> <li>③データ化によりお客様控のペーパーレス化</li> <li>④A5フラットから連続フラットへの切替によりコスト削減と作業性向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・KM2の導入をして頂いた荷主でも既存システムとの切り替えや、従来のやり方と並行しているところがある</li> <li>・新規8件導入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紙の削減効果 年300千円</li> <li>・郵送代削減 年700千円</li> <li>・郵送からメールに切り替えることの作業軽減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・システム統一全て完了</li> <li>・生成AI、RPA活用の取組みは8月より開始、目標は2人月の工数削減</li> </ul>
ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドットプリンターの廃止を全面的にお客様へアピールしてEDI化導入を推進</li> <li>・EDI導入後お客様の出荷に立ち合い、エラー発生時にはその場で即時対応した為、EDI導入によるお客様の心配を解決できた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お客様と当社の課題を共有し、過去に導入が困難であったEDI化について再度提案したことで、相手側の社内事情も変化し導入が決まりました。その結果、両社にとってメリットが出る結果となりました</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どうしても従来の方法を固辞される場合は、丁寧に根気よくお願いすることで変更をして頂いている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運輸システムから請求書作成している分はシステムとしての統制はとれているが、電子化には非対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どの分野においても人財不足が顕在化しているため、特に間接業務は自動化による合理化を進める</li> </ul>